※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学アート科

教科	学アート	科目	(学)芸能文化鑑賞演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ＤＶＤ等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・プリントでの事前事後学習を行い、鑑賞のポイントなどを知識として整理しつつ、ＤＶＤなどによって鑑賞をする。
・休業中には自主的な観劇等を促し、レポート提出を求める。
・時代の淘汰を経て、生き残り継承されてきた文化を味わうぜいたくさを体感したい。

2　学習の到達目標

・国内外、新旧の映画や演劇、古典芸能など幅広い芸能文化の知識を理解する。
・多くの作品に触れ、鑑賞することで文化的側面の考察や、作品自体の批評を表現する力を養う。
・芸能文化作品について、主体的に学習し適切な鑑賞態度や文化的素養を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	事前学習として、その作品ができた文化的背景を理解する。作品名、監督名、主役名、ストーリーなどを覚え、他人に伝えることができる。	鑑賞した作品を理解し、登場人物の行動・心情に触れ、自分自身がどう感じたかを表現することができる。	芸能文化作品のよさを認識し、歴史的、文化的価値を理解しようとする態度、作品の評価を多様な側面から深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	演劇①現代日本演劇の流れ	a　作品の生まれた歴史的な流れを理解している。 b 感想レポートをまとめる。 c　自主レポートを作成する。	小テスト	プリント 授業態度	レポート
	映画①日本の名作①				
	演劇②現代演劇鑑賞	a　作品の生まれた歴史的な流れを理解している。 b 感想レポートをまとめる。 c　自主レポートを作成する。	小テスト	プリント 授業態度	レポート
	映画②世界の名作①				
後期	日本の古典芸能	a　作品の生まれた歴史的な流れを理解している。 b 感想レポートをまとめる。 c　飽きずに最後まで鑑賞することができる。	小テスト	プリント 授業態度	レポート
	映画③日本の名作②				
	現代日本の芸能文化	a　作品の生まれた歴史的な流れを理解している。 b 感想レポートをまとめる。 c　自主レポートを作成する。	小テスト	プリント 授業態度	レポート
	映画④世界の名作②				

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度